

京都市口腔保健推進実施計画「歯ッピー・スマイル京都」に基づく取組について

1 京都市口腔保健推進実施計画「歯ッピー・スマイル京都」別添について

京都市では、平成30年3月に策定した京都市口腔保健推進実施計画「歯ッピー・スマイル京都」（以下、「実施計画」という。計画期間は、平成30（2018）～2022年度の5年間。）に基づき、歯と口の健康増進から全身の健康増進、そして健康寿命の延伸を目指したライフステージや特性に応じた取組を、関係機関・団体と連携して推進している。

＜実施計画におけるライフステージ等に応じた歯と口の健康づくりの基本的な取組の推進イメージ＞

関連：実施計画 P.12

ライフステージ	年齢の目安	① 口腔機能の 育成・低下予防	② むし歯予防と歯周病予防	③ かかりつけ歯科での定期的な歯科健診
胎児期 (妊娠期)	—	胎児の 歯の形成	妊婦の むし歯予防	妊婦の 歯肉炎予防
乳幼児期	0～就学前	育 成	むし歯になりやすい部分がある (ライフステージによって むし歯予防)	
少年期	小学生 中学生			
青年期	10歳代(後半) 20歳代(前半)			歯肉炎予防
壮年期	20歳代(後半) 30歳代			歯周炎予防
中年期	40歳代 50歳代			歯周炎の 重症化予防
高齢期	60歳代(前半)	オーラル フレイル予防 低栄養の防止 フレイル予防		
	60歳代(後半)			
	70歳代 80歳以上			
障害児・者 要介護高齢者 等	—	口腔ケアの推進、誤嚥性肺炎予防		
	—	食べる・飲み込む機能の維持・向上		
	—	歯科健診受診の推進		
	—	歯科診療体制の確保		

2 市民の歯科口腔保健の状況（実施計画に基づく数値）

関連：実施計画 P. 30

区分	項目	H29 (2017) 年度 (ベースライン)		H30 (2018) 年度 (現状)		2022 年度 (目標)
胎児期 (妊娠期)	妊娠中に歯間清掃用具（デンタルフロスや歯間ブラシ等）を使用している市民の割合	51.9%	H28 (1)	53.2%	H29 (1)	60%以上
乳幼児期	3歳でむし歯のある市民の割合	14.1%	H28 (2)	13.0%	H29 (2)	10%以下
	3歳でフッ化物歯面塗布を受けたことのある市民の割合	46.8%	H28 (3)	49.1%	H29 (3)	55%以上
	3歳で不正咬合等がみとめられる（咬み合わせや歯並び等で経過観察が必要と判断された）市民の割合	14.6%	H28 (2)	13.4%	H29 (2)	10%以下
少年期	6歳でむし歯のある市民の割合	39.5%	H28 (4)	39.3%	H29 (4)	35%以下
	12歳の市民における永久歯の1人平均むし歯数	0.57 歯	H28 (4)	0.48 歯	H29 (4)	0.5 歯以下
	中学生で歯ぐきの状態について専門家の診断が必要と判断された市民の割合	3.1%	H28 (4)	2.7%	H29 (4)	減少
青年期 ・ 壮年期 ・ 中年期 ・ 高齢期	20歳代で歯ぐきに炎症所見のある市民の割合	25.8%	H28 (1)	29.0%	H29 (1)	20%以下
	40歳代、60歳代で進行した歯周炎を有する市民の割合	40歳代 33.3%	H28 (1)	23.0%	H29 (1)	40歳代 25%以下
		60歳代 33.3%	H28 (1)	48.8%	H29 (1)	60歳代 30%以下
	40歳代、60歳代で歯間清掃用具（デンタルフロスや歯間ブラシ等）を使用している市民の割合	40歳代 52.0%	H28 (5)	*	*	40歳代 60%以上
		60歳代 48.2%	H28 (5)	*	*	60歳代 55%以上
	60歳代で咀嚼良好な（なんでも噛んで食べることができる）と回答した市民の割合	70.5%	H28 (5)	*	*	80%以上
	60歳代で24歯以上の自分の歯を有する市民の割合	46.0%	H28 (5)	*	*	60%以上
障害者(児)	70歳以上で20歯以上の自分の歯を有する市民の割合	39.9%	H28 (5)	*	*	45%以上
	障害者（児）入所施設における定期歯科健診の実施率	80.0%	H27 (6)	*	*	90%以上
要介護 高齢者	要介護高齢者入所施設（介護老人福祉施設・介護老人保健施設）における定期歯科健診の実施率	54.5%	H27 (6)	*	*	60%以上
共通	20歳以上でこの1年間に歯科健診を受けている市民の割合	47.4%	H28 (5)	*	*	65%以上
	18歳以上で「丁寧に歯をみがく」ことを意識している市民の割合	63.8%	H28 (5)	*	*	70%以上

* 印：出典元となる調査が毎年実施でないため、ベースライン値以降の新たな数値が得られていないもの。

出典：(1)成人・妊婦歯科相談，(2)3歳児歯科健康診査，(3)フッ化物歯面塗布受診票使用状況，(4)「京都市立学校・幼稚園」児童・生徒定期健康診断集計表，(5)市政総合アンケート報告書，(6)歯科保健医療サービス提供困難者普及啓発等推進事業アンケート

3 実施計画に基づく取組

関連：実施計画 P. 16～28

(1) 平成30年度の取組状況

主な取組例は以下のとおり（取組の詳細と実績は資料4-2参照）。

① ライフステージごとの取組

・ 胎児期（妊娠期）

母子健康手帳等による情報発信や、成人・妊婦歯科相談、健康教室等の実施など

・ 乳幼児期

歯ッピー・パスポート（子ども成長に合わせた歯と口の健康づくり手帳）等による情報発信、乳幼児健診における歯科健診・歯科保健指導、乳幼児歯科相談等の実施、フッ化物応用によるむし歯予防の取組（フッ化物歯面塗布事業、保育園（所）等での集団フッ化物洗口の開始支援）など

・ 少年期

児童・生徒の歯・口腔健康診断、歯科保健教育や歯みがき教育の実施、市立小学校における集団フッ化物洗口の実施など

・ 青年期・壮年期・中年期

歯ッピーNote（歯周病予防啓発手帳）や歯周病セルフチェックシート等による歯周病予防に関する情報発信、成人・妊婦歯科相談や健康教室（お口から始める生活習慣病予防教室等）等の実施、歯周疾患予防健診、口腔がん啓発事業など

・ 高齢期

青年期・壮年期・中年期と同様の取組に加えて、口腔機能相談や口腔機能向上教室等の実施など

② ライフステージごとの取組に加えて、各特性に応じて必要な取組（障害者（児）・要介護高齢者をはじめとした配慮が必要な方に対する取組）

障害者歯科診療提供体制の確保、施設入所者及び通所者に対する出張歯科健診・歯科保健指導、施設職員に対する口腔ケア等の知識や技術の普及啓発、家族介護者に対する口腔ケア実践講習会など

③ すべての市民に対する共通の取組

休日急病歯科診療の提供、市民・区民への歯科保健啓発イベントの実施支援、「健康長寿のまち・京都」の推進（健康長寿のまち・京都いきいきポイント、いきいきアプリ、ポータルサイト、いきいきフェスタ）、地域における健康づくり事業など

（２）平成３０年度の新たな取組，又は充実した取組

① ライフステージごとの取組

ア【胎児期（妊娠期）、乳幼児期、青年期～高齢期】地域における健康づくり事業と連携した市民の利用する場所での乳幼児歯科相談や成人・妊婦歯科相談の開催

＜具体的な取組＞

- ・ 手続き等のために区役所に来られた方に、手軽に健康チェックを受けてもらう企画「ふらっと健康チェック」の中で成人・妊婦歯科相談を実施〔北〕。
- ・ 北部山間地域における子育て支援の取組において、乳幼児歯科相談を実施〔左京〕。

イ【乳幼児期】保健福祉センターでの乳幼児健診や健康教室等における口腔機能を育むための啓発や保健指導の充実

【乳幼児期】保育園（所）・幼稚園等に対する歯と口の健康づくりや口腔機能を育む食育等の普及

＜具体的な取組＞

- ・ リーフレット「京都市お口の体操」別添の作成とそれを活用した啓発等の実施。
- ・ 児童館や保育所（園）・幼稚園向け啓発リーフレット「歯ッピー・スマイル for KIDS」別添の内容を充実（むし歯予防やフッ化物洗口に関する内容に、口腔機能を育むための内容を追加）。
- ・ 健康長寿のまち・醍醐「歯ッピースマイル大作戦」（歯の健康イベントの開催，保育園等での集団フッ化物洗口の推進）〔醍醐支所〕

ウ【青年期～中年期】糖尿病重症化予防に関する歯科専門職を含めた多職種連携の推進
【青年期～中年期】保険者や企業等による生活習慣病予防に関連する歯科口腔保健の普及啓発の充実

＜具体的な取組＞

- ・ 京都市糖尿病重症化予防地域戦略会議への歯科専門職団体（京都府歯科医師会及び京都府歯科衛生士会）の参画
市民の健康寿命の延伸に向け、医療機関、関係団体等が協働し、オール京都での糖尿病重症化予防の事業推進を図るため、平成３０年３月１５日に「京都市糖尿病重症化予防戦略会議」を設立した。平成３０年度から、府医師会，地区医師会，各専門医に加え，新たに，府歯科医師会，府薬剤師会，府看護協会，府栄養士会，府歯科衛生士会に参画いただいている（本年度２回）。
- ・ 京都市国民健康保険特定保健指導実務者研修会での研修「特定保健指導のための歯科知識」の実施
- ・ 京都市国民健康保険特定保健指導マニュアル（「歯と口の健康」含む）の改定

エ【青年期～中年期，高齢期】啓発イベント等における口腔がん啓発事業の充実

＜具体的な取組＞

- ・ 京都市口腔がん啓発事業の実施内容の充実（口腔がんの知識等の啓発を目的とした口腔外科医による口腔粘膜検診^{別添}の実施）

オ【高齢期】地域における健康づくり事業における口腔機能の向上等に関する健康教室の実施やお口の体操の普及の充実

【高齢期】 オーラルフレイルとその対策（お口の体操，トレーニング法等）の普及啓発

【高齢期】 後期高齢者歯科健康診査の実施

【高齢期】 後期高齢者歯科健康診査を通じた歯科医院と高齢サポート（地域包括支援センター，地域介護予防推進センター等の連携によるフレイル対策の推進

＜具体的な取組＞

- ・ リーフレット「京都市お口の体操」の作成とそれを活用した口腔機能やオーラルフレイル等の普及啓発。

イベントや研修会等でのリーフレットの配布や口腔機能測定機器（発音によるテスト，口腔水分測定など）による測定による啓発，各区の地域における健康づくり事業での活用など

- ・ 65歳以上のすべての市民の方に対し，介護保険料の通知に併せて，フレイル・オーラルフレイルに関する情報を掲載したお知らせを送付。
- ・ 京都市後期高齢者歯科健康診査「75歳お口の健診」事業の開始^{別添}

平成30年9月に事業を開始。市内の満75歳の方を対象に，実施医療機関で，口腔機能チェックを含む歯科健診，オーラルフレイル対策等につながる保健指導の実施，地域介護予防推進センター等の情報提供を実施。

- ・ 各区におけるオーラルフレイル対策や口腔機能の低下予防に関する取組
「健康寿命をのばす お・も・て・な・し」カードの作成 [上京]，東山体操の作成（東山），山科わっはっは体操の作成 [山科]，「食えること，飲み込むことを通じて地域包括ケアを考える」研修会の開催 [南] 等

② ライフステージごとの取組に加えて，各特性に応じて必要な取組

カ【障害者（児），要介護高齢者等】施設職員等への口腔機能の向上，食べることの支援に関する知識や技術の普及啓発の充実

＜具体的な取組＞

- ・ 京都市歯科保健医療サービス提供困難者普及啓発等推進事業における障害者（児）・要介護高齢者等の入所施設等の職員向け研修会（障害者・要介護高齢者等の口腔ケア）の開催

③ すべての市民に対する共通の取組

キ【共通】歯と口の健康づくりや市民の歯科保健状況に関する情報の発信

＜具体的な取組＞

- ・ 健康長寿のまち・京都の取組の一環として、Leaf mini や WEB Leaf, 健康タウンページといった情報媒体に「歯科健診を受けること」の啓発や本市歯科健診・歯科相談事業等を紹介。

4 平成31（2019）年度の取組予定について

京都市口腔保健推進実施計画「歯ッピー・スマイル京都」に基づき、平成30年度の取組を引き続き実施するとともに、地域介護予防推進センターを中心とした「オーラルフレイル・フレイル対策」の推進や歯周疾患予防健診を活用した「歯科からの糖尿病重症化予防対策」といった取組の充実を図る資料4-3：歯ッピー・スマイル推進事業。

＜実施計画の関連項目＞

- 【高齢期】オーラルフレイルとその対策（お口の体操、トレーニング法等）の普及啓発
- 【高齢期】地域介護予防推進センター等の連携によるフレイル対策の推進
- 【青年期～中年期】保険者や企業等による生活習慣病予防に関連する歯科口腔保健の普及啓発の充実

その他、実施計画の以下の関連項目について、取組の充実を検討していく。

＜実施計画の関連項目＞

- 【乳幼児期】保育園（所）・幼稚園等に対する歯と口の健康づくりや口腔機能を育む食育等の普及・啓発（保育施設職員に対する園児・保護者への指導マニュアルの作成等）
- 【青年期～中年期】大学や企業等との連携による若年層に対する歯科口腔保健の普及啓発
- 【共通】歯科医院と連携した禁煙や受動喫煙予防対策の推進（禁煙ポスターの掲示等）
- 【共通】災害時の市歯科専門職対応マニュアルの作成